

2023年3月31日

関係各位

東京都議会立憲民主党

幹事長 西沢けいた

羽田空港の新飛行ルートに関する談話

私たち東京都議会立憲民主党は、2021年7月の都議選向けの政策「東京政策2021」のなかで、「羽田空港の新飛行ルートについては、固定化を避けるための取り組みを早急かつ具体的に進め、見直しを図るよう国に対して求めていきます」と有権者の皆さまと約束してきました。

都議選後の8月25日には、国の「第4回羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」が開催されたこともあり、第3回都議会定例会において、私が自ら直接、小池知事に対して「羽田空港の都心ルートの見直しを国に強く求めるべき」と訴えてきました。(2021年10月5日本会議代表質問)

その後、私たちは、都議会の決算特別委員会の場などで、羽田新飛行ルートの問題を取り上げる一方、国においては、2022年8月3日に「第5回検討会」が開催されましたが、具体的なルート案は示されず、また、今後1年以上かけて、安全性の評価を行うなどとしたスケジュールが示されるなど、地域の皆さまが期待し、納得できるような検討が進んでいないとの印象を受けています。

このよう中、今年予算特別委員会において、政調会副会長の中田たかし都議（渋谷区選出）が、都と国の検討会との関わりやゴーア라운드（北上・逆飛行）の問題、騒音の問題や需要回復による増便の影響などを質問しました。(2023年3月9日予算特別委員会)

とりわけ、最後の質問で「知事として、地域からの声に向き合って、しっかりと行動していくべき」と迫りましたが、小池知事が答弁に立たなかったのは、残念でなりません。

私たちは、引き続き、羽田新飛行ルートの固定化回避、見直しに向けて、地域の皆さまと手を携えながら取り組んでいく所存です。

より一層のご理解・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

以上